

Pitch to the Minister 懇談会
AIがもたらす社会と人材育成について

2018.12.19 一般社団法人 日本ディープラーニング協会



一般社団法人 **日本ディープリンング協会**

»概要

当協会は、ディープリンングを中心とする技術による日本の産業競争力の向上を目指して設立された産業団体です。ディープリンングを事業の核とする企業および有識者が中心となり、産業活用促進、G検定やE資格（※）をはじめとした人材育成、公的機関や産業への提言、国際連携、社会との対話など、産業の健全な発展のために必要な活動を行って参ります。

理事長	松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 特任准教授
正会員（法人）	19社
有識者会員（個人）	12名
賛助会員（法人）	15社
ホームページ	http://www.jdla.org/

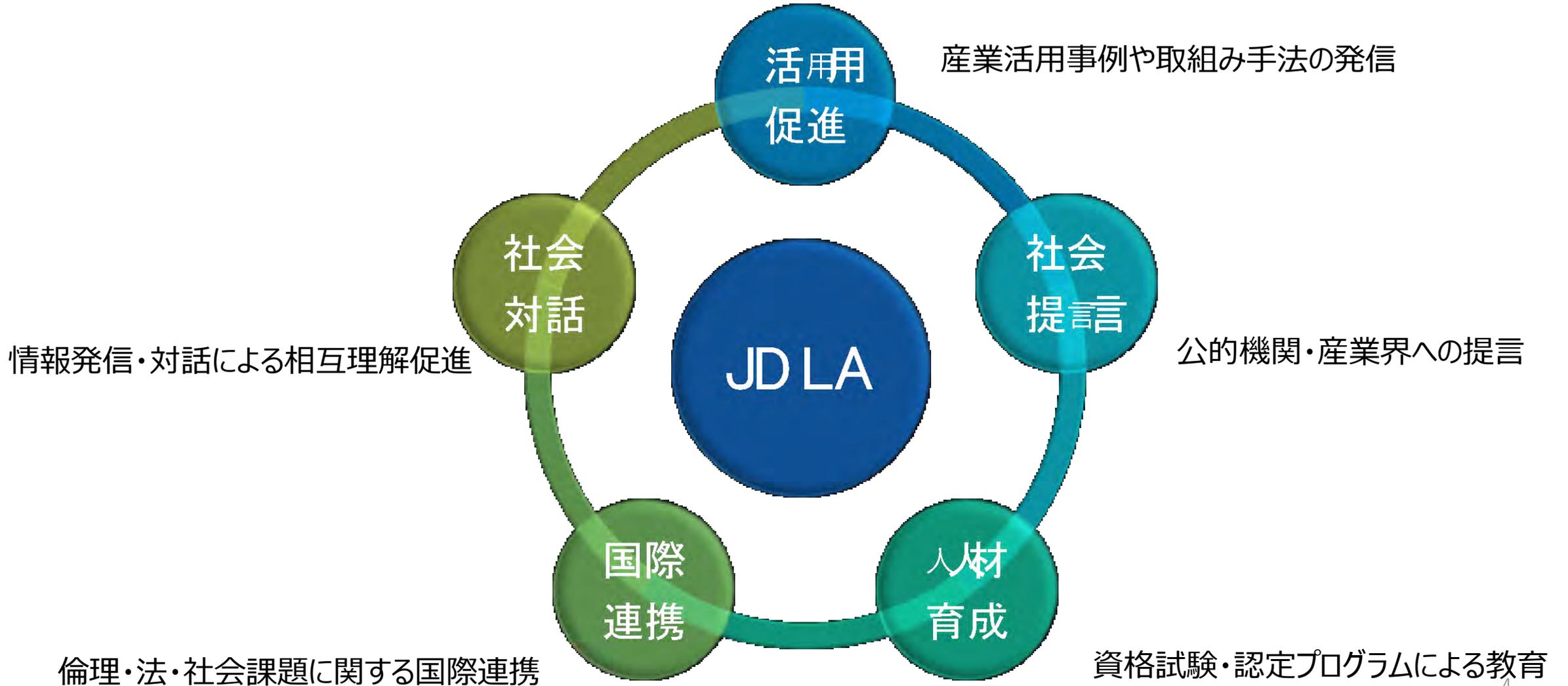
※G検定 ディープリンングの事業活用に必要な知識を認定する、ジェネラリスト向けの検定試験

※E資格 ディープリンングを実装する技能を認定する、エンジニア向けの資格試験

設立の背景

- ディープラーニングは数十年に一度の技術。大きく社会を変える。
- インターネットでは負けたが、ディープラーニングでは負けたくない。
- 一方で、AIという言葉はスーツケースワード。なんでも入ってしまう。
- 良いものを良いという仕組みがないと、悪貨が良貨を駆逐する。
- したがって、ディープラーニングの技術をもった人を認定する仕組みは必須。
- 人材育成を起点に、産業活用を促進し、日本全体での競争力につなげていきたい。
- 2017年6月設立、11月に発表。それまでの約1年間、ディープラーニングを主体とするスタートアップが集まり、何をすべきかを喧々諤々の議論。
- 設立後はメンバーは手弁当で、早朝・深夜に集まって活動。わずか1年で、多くの活動を実現。

協会活動



協会活動を担う委員会

BA

産業活用促進委員会

Business Acceleration Committee

EX

試験委員会

Examination Committee

PA

公共政策委員会

Public Affairs Committee

試験委員会

ディープラーニングを中心とした人工知能技術を扱う「人材」の育成施策を考えます。また、その一環として検定・資格試験を実施します。

JDLA



GENERAL
2018

委員長

松尾 豊（理事長/東京大学大学院工学系研究科 特任准教授）

部会・プロジェクト

- ・ G検定部会 ★G検定 過去3回開催・申込のべ**6,292**名
- ・ E資格部会 ★E資格 過去1回開催・申込**342**名
- ・ プログラム認定部会

JDLA



ENGINEER
2018

産業活用促進委員会

ディープラーニングの普及を促進し、また産業活用において発生している課題の解決策を検討・実行します。

委員長

佐藤 聡（理事/connectome.design株式会社 代表取締役社長）

部会・プロジェクト

- ・ 経済産業省「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」策定過程での提言
- ・ NEDO「産業分野における人工知能及びその内の機械学習の活用状況及び人工知能技術の安全性に関する調査」へのサポート
- ・ テキストと事例集の出版（後述）
- ・ 開発プロセス標準化検討会・・・AI・機械学習システムの特徴を反映した開発プロセスの標準化を検討。
- ・ 「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」からの標準契約書策定検討会
 - ・・・経済産業省のガイドラインから、若手起業家のスタートアップ企業でも利用できるような明瞭簡潔な契約書雛形を検討。